

■【トピックス】

今年も残りあとわずかです！



今年の経済状況は、昨年後半のリーマン・ショック以降、ジェットコースターを滑り降りるような経済状況でした。これまでに経験したことがないような経済の失速に打つ手なしという感じですね

一方、政治の方は、久方ぶりの政権交代でしたが、こちらの方もイメージばかり、まだ実績として見えてくるものはありません。政権発足後3ヶ月以上経ちましたが、そろそろ結果が欲しいところです。

■【ビジネス・アイ】  
会計基準（その2）

- 社長 「ところで、最近IFRSとかいう言葉をよく目にするんだけど、あれは何なの？」
- 花野 「IFRS というのは国際財務報告基準のことで、一般的には国際会計基準と呼ばれていたりしています」
- 社長 「なにに会計基準のことなの。うちのような中小企業には関係なさそうだね」
- 花野 「そうとも言い切れませんよ。日本もこのIFRS を採用する方向ですから。上場会社では、今期から任意適用する会社もあります」
- 社長 「とりあえず、大きな会社から適用されるんだよね。中小企業にも適用があるの？」
- 花野 「まずは、大企業の連結財務諸表へ 2015 年を目処に強制的に適用することが検討されています。しかし、個別財務諸表にも適用しないと事務的にはものすごく煩雑になります」
- 社長 「そうすると、いずれは個別財務諸表にも適用される可能性がありそうだね」
- 花野 「そうですね。その時には中小企業もどうするか方向性がでると思われそうですが」
- 社長 「だいたい先の話だね」
- 花野 「そうでもないかもしれません。2013 年には日本基準でも損益計算書から包括利益計算書に変わりますので、中小企業の決算書もその1年後には変わる可能性がありますね」
- 社長 「損益計算書がなくなるの」
- 花野 「ええ、中小企業には実質的な影響はないでしょうが、形式的には変わる可能性があります」

■【今月のキーワード】

IFRS

国際財務報告基準（International Financial Reporting Standards）は、国際会計基準と呼ばれたりしますが、正確にはそれまでのIAS（国際会計基準 International Accounting Standards）などと合わせてIFRS 's（イファーズ）として適用されています。

世界では、日本と米国を除く110カ国以上で採用されています。日本と米国も数年以内に採用する予定です。

中小企業向けの会計基準もあります。

■【今月の1冊】

『一気に業界No.1になる！「新・家元制度」顧客獲得の仕組み』

前田 出 著

ダイヤモンド

¥1500

すべてのビジネスに応用可能な最強のビジネス・モデル、それが家元制度です。

継続的な収益を生み続けるその秘密はインストラクター（先生）の養成と組織化にあります。

これまで、だれもそのノウハウを出版しませんでした。今買うしかない1冊です。



■【編集後記】

マクロな景気動向は回復の兆しがあるといわれていますが、中小企業はそう感じられないのが本当のところではないでしょうか。

雇用に結びつかない景気回復に、どれだけの意味があるのでしょうか？

『NEWS LETTER』vol. 33（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2009.12.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>